

ロボットリハビリテーション はじめました!!

全国的にも、まだ導入している病院が少ないロボットリハビリテーションを
済衆館病院で導入しました。



当院で使用開始したのは、**上肢用ロボット型運動訓練装置『ReoGo-J』**というコンピュータ技術とロボット工学を応用した機器です。「脳卒中患者訓練に使用すると、上肢機能の改善が期待できる」とされているものです。

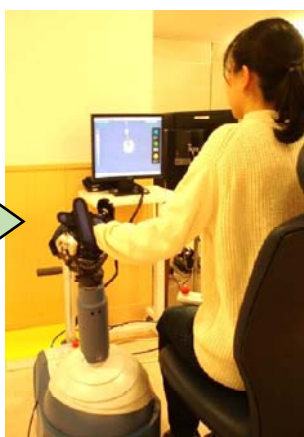
ロボットリハビリテーション使用においては、作業療法士が症状、障害の程度など機器仕様に適しているかを専門的に判断します。

当院で使用している様子

対象；
脳卒中片麻痺患者様

操作；
麻痺側上肢を固定し、
画面の目標に向けて動かします。

使用目的；
麻痺側上肢の機能向上と日常生活の使用に向けて訓練します。



リハビリテーションは単に**運動・機能回復を意味するものではありません。**

再び日常生活を取り戻すことが大切です。「何がしたいのか、どうしてこの運動をするのか、生活のどの動作にむけて進めていくのか」**日常生活を意識**してもらいながらロボット使用をしていただいています。

今後も適応患者様には使用していき患者様の機能回復と日常生活能力回復に貢献していきたいと思います。